

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成27年度第2回情報教育研究委員会議事記録

I. 日 時：平成27年9月14日(月) 17:00～19:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 参加者：屋代担当理事、斎藤委員長、玉田委員、岡田委員、西垣委員、寛委員、  
大原アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

#### IV. 検討事項

今年度のフォーラムは、「新たな価値を創出するビックデータの活用」をテーマに平成28年1月26日の午後に私学会館で開催することになっている。今回は、フォーラムの進め方や有識者について以下のような検討を行った。

- ・ 進め方について、司会から趣旨・テーマ説明3分、課題説明15分4名、質問20分を予定している。
- ・ 学生からの質問を受けることについて、質問が出にくいことを考慮してまとめてはどうか、メモを書いてもらい質疑にしてはどうか、質問が長くなった場合に編集することもかんがえてはどうか、質問は別枠の視聴として編集を前提に収録時間は限定しなくてもよいのではなにかなどの意見があった。
- ・ 参加の学生は委員に選定をお願いすることにして（候補：早稲田、東海、江戸川大学など）、2～3年生で男女混合により3～5名程度を考えることにした。参加の了解を得る約束ごととして、質問時には学生の顔は撮影するが大学名のみで名前はなならないことにしている。
- ・ 有識者の候補について、「ビックデータ活用によるイノベーションの可能性と課題」、「データ・情報の活用力を身につけるための学びを考える」の2課題については日程の確認がされている。また、個人データの取り扱いなど安全性の担保・課題についても前者に説明いただくことにした。
- ・ ビッグデータについては、「ビッグデータによる価値創造の事例紹介」として賛助会員企業に依頼し、回答待ちである。次週まで回答を待ち、回答の結果によりIoTの事例（自動車社会とIoT）の依頼を考えることにした。
- ・ IoTについては、新聞雑誌関連の候補をあげていたが、情報処理推進機構に依頼してはどうかの意見があり、「IoTの世界潮流とリスク」として依頼をすることにした。

#### V. 今後のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、10月19日の18時から開催することにし、有識者の確定、進め方（司会進行、学生の参加）などについて検討する予定にしている。